

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の72%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり126kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり748kgの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。
- 定置網—五島有川地区では、スルメイカなどが1日1統当たり384kgの水揚げ。五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり206kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり51kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり474kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり106kgの水揚げで、前週の79%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/30～2/3の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、時化で各地入港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）2日延18隻、総計1,128箱、1航海最高120箱、平均62.7箱。

スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-5号 長崎県周辺海域の海面水温（2月号）」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>